

ANA ウインドサーフィンワールドカップ 横須賀三浦大会

1. 期日;2022年11月11日～15日
2. 場所;横須賀市津久井浜海岸
3. 目的;主催団体が7つあるがそのひとつに横須賀市の名前もある。スポーツ推進委員として直接係ることはないが、スポーツ推進委員として周辺知識として、一市民として応援者として伺った。
4. 内容・感じた事
 - (1)3年ぶりの大会で、世界のトップアスリートが繰り広げる熱い戦いを観戦して、ウインドサーフィンのすばらしさと三浦半島・津久井浜海岸の魅力を探してみたく伺った。
 - (2)世界各国を転戦しながら行うウインドサーフィンのワールドカップは、11日から始まった「横須賀・三浦大会」は、全体のシリーズの2戦目。大会に参加しているのは、30ヶ国ほどから集まったトップ選手およそ90人。「スラローム」という競技で、8人1グループとなって水上に浮いている複数のマークブイをぬって走り順位を決める。
 - (3)感じたことは、この競技風が吹かないとなかなかむつかしい、中断もある。しかし、参加選手の笑顔がなんともよい、すがすがしく応援したくなる。
 - (4)電車や車他から多くの人が観戦にこらえていた、津久井浜駅では電車から降りる人、新たに乗り込む人などたくさん見かけた。



最寄り駅 京急津久井浜駅のポスター



駅からの道にあるのぼり旗



用具に触ってみる体験の様子



今大会のポスター